

第4回日本臨床薬理学会中国・四国地方会 一般演題募集要項

今回の中国・四国地方会におきまして、一般演題を募集します。

今回のテーマは「種を育てる」であり、特に医薬品の実用化、臨床研究を支えるCRCや支援・管理担当の方々の現実的な取り組みに関する演題を歓迎します。

もちろん臨床薬理学の範疇のあらゆる内容に関する演題のご応募をお待ちしています。

発表形式はポスターのみで、当日15:10-15:40が一般演題ポスター発表となっています。

なお、本地方会への参加、発表により、取得できる単位は以下の通りです。

専門医・認定薬剤師更新者：参加10点、発表者5点、共同発表者2点

認定CRC受験者・更新者：参加10点、発表者5点、共同発表者2点

1、演題応募方法

1) 発表者について

発表は日本臨床薬理学会会員に限りません。ただし共同演者には1名以上の会員を含め、会員については後述の抄録記載の発表者氏名にアンダーラインをお願いします。会員が含まれていない場合は不採用とさせていただきます。

また、この機会に日本臨床薬理学会への入会をご検討いただければ幸いです。

入会手続きは、<https://www.jscpt.jp/nyukai/index.html> をご覧ください。

2) 抄録作成について

抄録は、演題、発表者氏名、発表者所属、本文の順にワードファイルで作成して下さい。

抄録本文は600字以内とし、原則【目的】【方法】【結果】【結論】の順に記載して下さい。

なお、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針等を参照頂き、適用範囲に当たる演題に関しては倫理審査委員会の審査承認を得ている旨の記載など、適切な対応をお願いします。

初回受領以降、変更や修正は一切出来ません。頂いた原稿をコピー&ペーストにより抄録集に移行しますのでご了解下さい。

抄録見本

治験業務の病院内協働体制構築の試み

徳島 すだち1)、阿波 おどり1)、四国 太郎2)、中四 花子3)

徳島大学病院1)、四国病院2)、中四診療所3)

【目的】近年、臨床研究・治験をめぐる状況が大きく変化し、CRC (clinical research coordinator) の関与の多様化、役割の拡大が求められている。同時に特に治験の実施において、CRC への「過剰依存」と考えられるような状況もしばしばみられる。CRC の役割に立ち返り、治験責任・分担医師との関係の再構築、他の職員と協働で病院としての臨床研究・治験実施体制を構築するため、現状を把握することを目的とした。【方法】CRC に質問紙調査を行い・・・・・・・・・・ 【結果】・・・・・・・・・・ 【結論】・・・・・・・・・・

3) 演題応募について

ワードファイルで作成頂いた抄録を添付し、事務局までメールにて送信してください。

締め切りは [2019年5月31日金曜日 17:00 必着](#)です。

送信先 第4回日本臨床薬理学会中国・四国地方会事務局 first-ec@tokushima-u.ac.jp

(件名は、第4回日本臨床薬理学会中国・四国地方会演題申し込み、をお願いします)

メール受領時に、受領の旨の返信を、採用決定時にその旨の送信を致します。採用決定の送信は応募締め切り以降、7-10日程度を予定しています。連絡がない場合はお知らせ下さい。

恐縮ですが、演題の採否に関しましては会長に御一任下さい。

2、優秀演題賞

今回試行的に、[一般演題ポスター発表に関して優秀演題賞を設定](#)しました。

当日ポスター掲示が行われた演題を対象に、参加した中国・四国支部世話人の投票で選考を行い、17:20より発表と受賞者への授与式を行います。

選考結果は中国・四国地方支部事務局へ報告し、世話人会への情報提供や中国・四国地方支部のサイトへの受賞者掲載を実施する予定です。

演題応募の際、優秀演題賞へのエントリーを希望されない方はお知らせ下さい。

なお、極端に応募演題が少なく優秀演題賞の設定自体が不適切と考えられる場合は中止する場合がありますのでご容赦ください。